

# ID LETTER

株主のみなさまへ  
第48期 第2四半期 決算のご報告  
2015.4.1～2015.9.30

**ID** INFORMATION DEVELOPMENT



# IT投資は 引き続き堅調

## 売上高

2015年3月期 第2四半期  
90億98百万円 >>



2016年3月期 第2四半期  
**97億29百万円**

システム運営管理、ソフトウェア開発ともに売上が伸びました。

売上は  
堅調に推移

## 営業利益

2015年3月期 第2四半期  
4億12百万円 >>



2016年3月期 第2四半期  
**2億円**

移転経費と  
不採算案件の  
発生により  
減少

## 1株当たり配当金

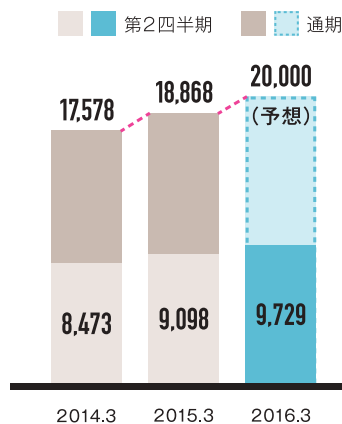
2015年3月期  
30円 >>



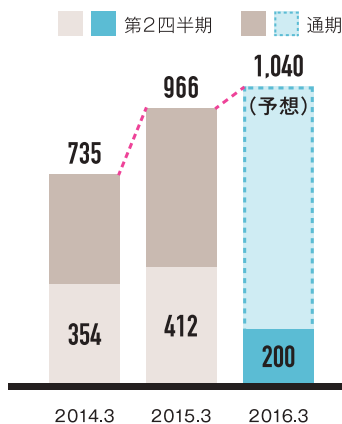
2016年3月期 (予想)  
**30円**

安定的な  
株主還元

## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (百万円)



# IDグループの連携を強め、 さらに活性化を進めていきます!!

情報サービス産業の売上高は、25ヶ月連続で前年同月を上回り、増加傾向が継続しています。当社のシステム運営管理およびソフトウェア開発事業はともに引き続き好調で、2016年3月期第2四半期の売上高は97億29百万円(前年同期比6.9%増)となりました。本店移転経費ならびにソフトウェア開発事業の不採算案件発生により営業利益は2億円(同51.3%減)となりました。

企業収益は改善傾向を維持しており、引き続き積極的なIT投資が期待できます。子会社吸収合併および本社と事業部門の移転集約で、グループ内の連携・グループ経営効率のさらなる向上を図るなか、「ダイバーシティの推進」や「グローバル推進」などの重点施策を着実に実行し、中期経営計画の達成を目指します。

なお、2016年3月期の期末配当につきましては、1株あたり30円とさせていただきます。

2015年10月30日  
代表取締役社長

船越真樹



# 会社情報

2015年9月30日現在

## ■ 会社概要

商号 株式会社インフォメーション・ディベロプメント(略称:ID)  
INFORMATION DEVELOPMENT CO.,LTD.

本社所在地 〒102-0076  
東京都千代田区五番町12番地1番町会館  
TEL.03-3264-3571(代表) FAX.03-3264-3618

創立 1969年(昭和44年)10月20日

資本金 5億9,234万円

社員数 1,878名(単体)

## ■ 国内・海外ネットワーク

### 連結子会社

- 株式会社ブライド  
資本金:4,000万円 ID出資比率:85.9%  
※出資比率は自己株式を控除して計算しております。
- 艾迪系統開発(武漢)有限公司(略称:ID武漢)  
資本金:110万米ドル ID出資比率:100%
- INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE.  
LTD.(略称:IDシンガポール)  
資本金:267万シンガポールドル ID出資比率:100%
- INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC.  
(略称:IDアメリカ)  
資本金:550万米ドル ID出資比率:100%
- PT. INFORMATION DEVELOPMENT INDONESIA  
(略称:IDインドネシア)  
資本金:25万米ドル IDシンガポール出資比率:51% ID出資比率:49%
- 愛ファクトリー株式会社  
資本金:5,000万円 ID出資比率:100%

### 関連会社

- Infinity Information Development Co.,Ltd.  
資本金:10万米ドル IDシンガポール出資比率:49%

## ■ 役員

代表取締役社長	船越 真樹	常務執行役員	山内 佳代
代表取締役副社長	山川 利雄	常務執行役員	南 耕治
取締役兼専務執行役員	小池 昭彦	常務執行役員	古川 勝己
取締役兼常務執行役員	七尾 静也	執行役員	倉重 恵造
取締役(社外)	杉浦 章介(慶應義塾大学名誉教授)	執行役員	加藤 剛
取締役(社外)	林 慶治郎	執行役員	上拾石 直樹
常勤監査役	寺門 常信	執行役員	木村 由美子
監査役(非常勤)	岡崎 正憲(公認会計士)	執行役員	松浦 繁則
監査役(非常勤)	増田 裕明	執行役員	土谷 明
監査役(非常勤)	日向 研	執行役員	坂本 康
	(みずほトラストオペレーションズ 株式会社 取締役社長)	執行役員	西川 和彦
		執行役員	榮 英司
		執行役員	岩下 和俊

※ 取締役 杉浦章介、林慶治郎は社外取締役です。

※ 監査役 岡崎正憲、増田裕明、日向研は、社外監査役です。





待ったなし!

# BUSINESS

## 情報セキュリティ対策

当社は1997年より情報セキュリティビジネスに携わっており、その中心的役割を果たしているのがiCS (iD-Cloudソリューション)部です。iCS部では、最新情報を日々入手し、技術力の向上に努めるとともに、メーカーと協力しながら、最適なソリューションを提案しています。

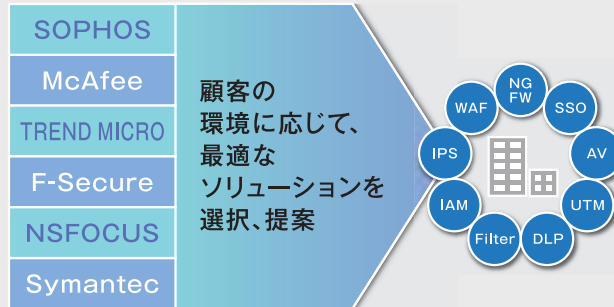


### 重要性を増すセキュリティ対策

これまででは、不特定多数に手当たり次第に攻撃を仕掛けるサイバー攻撃が多く見られましたが、近年は金銭や重要情報の入手を目的として、企業や個人に狙いを定めて攻撃する『標的型攻撃』が中心となってきました。『標的型攻撃』は、大手企業や官公庁だけが狙われるわけではなく、周辺企業・団体も広くターゲットとなり、そこから重要情報へアクセスされてしまう事例も多く発生しています。2016年から本格導入されるマイナンバー制度でも、個人情報の管理が重要課題となっており、企業での情報セキュリティ対策は最重要と言っても過言ではありません。

### iCS部のセキュリティサービス

1. 特定のベンダーにこだわらない最適なサービスを提案



2. 幅広い対策を提案
3. ワンストップでサービスを提供



### iCS部の最新サービス:標的型攻撃メール訓練サービス

情報漏洩の原因の一つが、不審なメールの添付ファイルや、URLのリンクを開いてしまい、ウイルスに感染するパターンです。標的型攻撃メールの場合、従業員が不審に思わないよう、巧妙な手段で通常のメールを装っていることがほとんどです。

「標的型攻撃メール訓練サービス」は、実際の標的型攻撃メールに似た疑似メールを送るサービスです。この訓練により、日頃からメールのどの点に注意しなければいけないかといった従業員の教育や実際に攻撃を受けた場合の動作確認、経営層のリスク認知など様々な効果を得ることができます。





# MOVED

## 本社を移転しました!

事業部門所在地における地区再開発、および7月の子会社吸収合併にともない、2015年8月から9月にかけて、本社および事業部門を一拠点に移転集約しました。これにより会議や意見交換がしやすくなり、業務外でのコミュニケーションも活発になっています。また、個人情報の取り扱いに関するセキュリティ厳格化のため、入退室管理もより高度化させています。オフィスの雰囲気も大きく変わりました。

- ≫ 白と緑が基調のオフィスは広い窓から入る日光で**明るい雰囲気**
- ≫ 固定の座席や電話を設けない**フリーアドレスのスタイル**に
- ≫ 緑道に面した立地、観葉植物やBGMなど、**リラックスして働くことができる環境**
- ≫ 社内行事や休憩時間に利用できる「IDサルーン」は**以前の1.5倍の広さ!**  
「南カリフォルニア」がテーマの**カフェのような空間**に

# NEW CM

## イメージCMのご紹介

当社は、社会認知度やブランド価値の向上のため、各種イベントや行事でイメージCMを放映しています。IDのイメージキャラクターであるマナティのCMに加え、今年度は新たにイメージCM『好奇心が未来を創る編』を作成しました。

新CMでは、子ども達が好奇心のままに、本を読んだり、カエルを追いかけて、ペンキで絵を描いたりしています。リズムカルなオリジナル音楽とカラフルな色彩で、見ているとわくわくしてくるCMです。子ども達の無限大の好奇心は、IDの企業理念「IDentity」の一つである「わくわくする未来創りに参加する情報サービス企業」を表現しています。これからも、各種の媒体を通じて、IDの社会認知度やブランド価値の向上を図っていきます。



こちらのURLからぜひCMをご覧ください! >> <http://www.idnet.co.jp/cm/>



# Global

## グローバル展開の歩み

グローバルマーケットへの日系企業の進出が活発化するなか、海外においても日本と同水準の安心かつ安全で、きめ細かいシステム導入支援や運用サービスのニーズが高まっています。システム導入支援から開発、運用、BPOまでのワンストップサービスを提供する当社も、積極的に海外進出を進めてきました。

### 【ID グループの海外展開】

2004年 4月	中国(武漢市)にID武漢設立
2012年 5月	IDシンガポール設立
2012年 8月	IDアメリカ設立
2012年11月	IDロンドン支店設立
2015年 5月	ミャンマー(ヤンゴン)に現地企業との合弁会社 Infinity Information Development Co.,Ltd.を設立
2015年 8月	IDインドネシア設立

海外展開を進めるなかで、人材のグローバル化も進んでおり、バイリンガルである外国籍の社員数も増加しています。中国や韓国、アメリカ、さらにはミャンマーやラトビア、スウェーデンなど、様々な国籍の社員が一緒に働いています。今年度の新入社員は35%が外国籍社員でした。

より良い人材を採用するため、海外の大学生の卒業時期と合わせ、秋季入社を採用も開始しました。今回の秋季採用では、7人の外国籍社員がIDグループに入社しています。人材の多様化を通じて組織も活性化しており、海外展開のさらなる拡大を背景に、中長期的な成長を目指していきます。

## ミャンマーでITトレーニング アカデミーを開校

当社は、子会社IDシンガポールを通じて、現地企業との合弁会社Infinity Information Development Co., Ltd.(iID社)を設立しています。ミャンマーは、民主化以降著しい経済発展を遂げましたが、依然として実機やインターネット環境が不足し、ITを実践的に学べる場が整っていません。また、コンプライアンス意識やビジネスモラルもあまり浸透していないのが実情です。

そこでiID社は、ITインフラ構築のための技術の実技、およびビジネスマナー、コンプライアンス等を学習できるi-Technology Professional Campを開校しました。

ここでは、実機を使った実践的なトレーニングやビジネスパーソンとしての意識やモラルを育成するコースを設けています。今後、卒業生を活用したミャンマー内外の日系企業に対するITスタッフのアウトソーシングサービス提供などに力を入れていきます。

London

## IDインドネシア設立

インドネシアでは政府の方針を受け、今後さらに国内での厳格なシステム運営管理が求められる見込みです。そこで当社グループは、現地法人PT. INFORMATION DEVELOPMENT INDONESIAを設立。これまで培ってきたノウハウを活かして、システム運営管理のコンサルティング、および現地リソースを使った運営管理サービスの提供を目指します。



IDインドネシアの看板



ジャカルタのビル群



これからのミャンマーを担う人材を育てます!



現地企業と合併契約締結



アカデミーの授業風景

## ID 武漢

無錫・東京支店が設立5周年を迎えました。また、武漢市でグローバル人材政策に携わってきた王麗姫氏が新しく総経理に就任しました。



ID本社で講話する王総経理

## ID アメリカ

グローバル人材の採用に力を入れています。その一環として昭和女子大学ポストン校で船越社長が講演をしました。



講演をする船越社長

## ID シンガポール

IDシンガポール (IDS) では現在、「フォレンジクス」に力を入れています。フォレンジクスとは、電子機器等の情報からサイバー攻撃の原因究明や証拠発見などを行うセキュリティサービスのことです。

IDSでは、現地企業と提携し、攻撃後のデータ復旧、外部に転送されたファイル特定、ログファイルやアクセス権限の見直しなどのサービスを提供しています。

また、モバイル向けでは、削除された着信・発信履歴、EメールやLINEなどのメッセージを回復し、分析することができます。

ますます需要が高まるセキュリティ分野で、販路を拡大していきます。

Boston

Japan

Wuxi  
Shanghai

Wuhan

Yangon

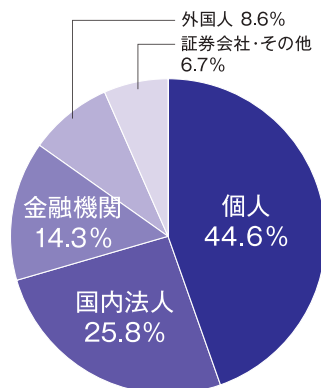
Singapore

Jakarta

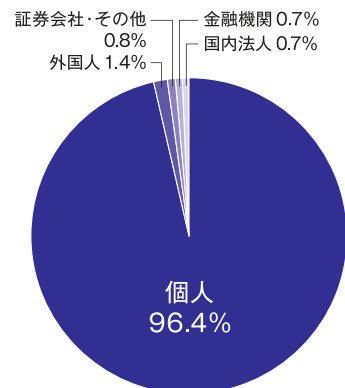
## ■ 株式情報

発行可能株式総数 24,000,000株  
 発行済株式総数 8,029,535株  
 株主総数 3,067名

## ■ 株式数別構成



## ■ 株主数別構成



## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当を行うときの中間配当金	9月30日
公告の方法	当社ホームページ上の電子公告により行います。 <a href="http://www.idnet.co.jp">http://www.idnet.co.jp</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

## ■ 大株主の状況

※下記のほか当社保有の自己株式462千株(5.76%)があります。

株主名	持株比率(%)
株式会社エイ・ケイ	11.20
株式会社みずほトラストシステムズ	8.50
ID従業員持株会	5.81
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	4.34
みずほ信託銀行株式会社	3.51
MSCO CUSTOMER SECURITIES	3.19
TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社	2.35
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NORTHERN TRUST(GUERNSEY) LIMITED RE GGDP RE:AIF CLIENTS 15.315 PERCENT NON TREATY ACCOUNT	2.30
SICAV COMGEST JAPAN	1.70
船越朱美	1.64

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵送物送付	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
および	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
証券コード	4709(東京証券取引所 市場第一部)

株式会社 **インフォメーション・ディベロップメント**  
 〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館  
 TEL.03-3264-3571(代表) IRお問い合わせ先:社長室 TEL.03-3262-5177

IDに関するより詳しい情報はこちらへ

<http://www.idnet.co.jp>

